

# Wish

vol. 36  
2012年1月号



## CONTENTS

特集 | Interview

2-3 若者に聞く未来

ユニセフボランティア最前線

4 ユニ・ボラ塾

ユニセフ兵庫と東日本

5 ひょうごからのおくりもの

6-7 活動ファイル

8 お知らせ

# 若者に聞く未来

# 私と世界の子どもたち

参加者：本田悠里さん(大学4年生)、福井沙織さん(大学2年生)、泉村萌子さん(大学2年生)  
司会：兵庫県ユニセフ協会事務局長 福井康代

### 3月に設立10周年を迎える兵庫県ユニセフ協会の中には 学生ボランティアグループ「ユニーズ」があります。

### ユニーズは、発想、行動力、発信力をいかした意見交換の場です。 今日は、若い人たちの思いを聞きました。

皆さんは、ユニセフに関心があつてこ  
こへ来られたと思います。どのような  
方法でユニーズを知り、実際に関わ  
つてみてどんな感想をお持ちですか。

**本田** 高校生の時から国際協力に  
興味を持っていましたが、部活に精  
一杯でした。大学1年の夏休みが過  
ぎたころ、ネット検索でユニセフの  
学生グループがあることを知りま  
した。今までは、途上国の人のために  
働くこと、途上国の人のことを伝え  
ることがユニセフ活動の中心と  
思っていました。今は、年下の高校  
生から人生の先輩である年上の方  
までいろいろな人に関わり、いろん  
なことを勉強し吸収することが私  
にとってのまずは一つのユニセフ  
活動になっています。2年前、ユニ  
ーズのリーダーをさせていただいた

時、身近な人の中にもいろいろな意  
見のあることに気がつきました。ユ  
ニーズは高校生から社会人まで10  
歳くらい年齢差のあるグループな  
んです。一人ひとりの意見を引き出  
して、生かして、うまく伝えて、活動  
として成り立たせていくことにつ  
いて考えることは、すごく勉強にな  
りました。

**福井** 高校1年の時から国際協力の  
興味を持つようになり、海外のこと  
に携わりたいと思っていました。ユ  
ニーズのことは、本田さんと同じよ  
うに、ネットで見つけました。ここ  
での講演会で、アフリカの子どもの実  
情を聞いて以来、アフリカに興味を  
持つようになりました。ここでの交  
流が好きです。イベントに参加する  
ことでモチベーションが高くなる



皆さんは途上国へ行かれたようです  
が、どうでしたか。

**本田** 阪神大震災の影響が大き  
いと思います。6歳でした。当時は分  
らなかつたのですが、震災の時の街  
の状況、避難中のひしめき合った狭  
い中での暮らしは、途上国で目にし  
た光景と似ているものがありまし  
た。

**福井** 昨年の夏にルワンダへ行き、  
マリールイズさんが支援している  
ウムチョムウィーザ学園を中心に  
教育の現場を見てきました。英語の  
授業内容はハイレベルで、ついつい  
日本の英語教育が気になりました。  
英語に興味を持ち、英語を勉強した  
いという気持ちになることが大事  
で、英語嫌いを作らないためにも、英  
語学習を始める前の入口の工夫が  
大切だと思ふんです。今は、ルワンダ  
に行つて、子どもとか教育を中心  
に何かできたらいいなと思ふ自分  
が、日本の教育を気にしている自分  
が、自分はどうすればいいんだろ  
うっていうのが正直な気持ちです。

**泉村** 大きな出来事があつたわけ  
じゃないんです。中学生の時、担任の  
先生が授業の合間を見つけては、世  
界の子どもの写真を見せてく  
れていました。自分の知らない世界  
がこんなにあるのだ、何かしたいと  
思っていました。高校の時も何かし  
たい思いながらも、部活動をすく  
頑張っていたんです。今思えば、目標  
に向かって進み、それを達成するこ  
とが大事で、その訓練を部活動でし  
ていたように思ふんです。大学に  
入つて、何か目標を持ってやりたい  
という思いが、一気にはじけたよう  
に思います。

**泉村** 昨年の夏にブータンへ行つ  
てきました。ブータンでは、自国の文  
化を守りつつ、海外からの情報も母  
国語に訳さず直接英語で入手し、外  
交も英語で行っていました。ブータ  
ンの初等教育では母国語以外は全  
部英語で授業を行う体制になつて

こともありまふ。一緒になつて何か  
を作りあげることが素晴らしいで  
す。自分も頑張つて多くのことを伝  
えていきたいと思つています。

**泉村** 大学に入つてやつと何か  
できると思ひJICA兵庫のセミ  
ナーに通つていた時にWishが  
目に留まり、自分にできることがあ  
るのではと思つて参加しました。深  
く関わつてなくて残念ですが、今は  
スケジュールの合う時にだけ参加  
させてもらつています。現役のお医  
者さんが、厳しい状況にある人々の  
様子を映像と歌で伝えるステージ  
は、すごくインパクトがありました。  
いろいろなイベントに参加させて  
いただいて、多くの方と触れ合い、新  
しい世界を教えていただいています。

いました。日本でもこのような形で  
英語教育をするかしないかは別と  
して、教育を受けるということは、自  
分たちが生きていくための知識を  
身につけるといふことですから、誰  
もが平等に教育を受けることには  
すごい意義があると思ひました。

**本田** 昨年は1年間フィリピンへ留  
学し、地元でNGOと一緒に活動し  
ました。アフリカのウガンダでは孤  
児院で活動し、先日はフィリピンで  
フェアトレードについて勉強して  
きました。ゴミ捨て場に住んでいる  
子どもたち、エイズで親を失つた子  
どもたちと関わつていく中で、自分  
の見たこと、感じたことを伝え、役立  
ててもらふことはとても大切なこ  
とと思ふようになりました。また、細  
く長くの支援活動が重要で、少しで  
も支援活動に関わつた人はこの子  
どもたちのことを忘れないでほしいと  
思つています。そして、大きく変わ  
つたことは、日本の子どもたちのこ  
とを考へるようになったことです。日  
本でも、虐待を受けている子や母子  
家庭で育つた子など別の問題で苦  
しんでいる子どもたちがたくさん  
います。

**泉村** 世界の子どもを見てるようで、日  
本の子どものこともしっかり見てい  
ることが伝わつてきますね。最後にな  
りますが、皆さんの夢はなんでしょう  
か。



**泉村** マザーテレサのような人  
になりたいと思つています。慈しみ深  
く、努力を重ねながら進んでいくそ  
の姿が素敵です。わたしの周りには  
国際協力に興味のない友人もたく  
さんいます。そんな友人を活動に巻  
き込むために、まずは自分が魅力的  
になり、私の行つている活動に興味  
を持ってもらえるように、自分磨き  
に頑張ろうと思つています。自分の  
活動をギターの弾き語りによつて  
伝えたいという夢も持っています。

**福井** わたしはおおらかなアフリ  
カが好きです。具体的ではないので  
すが、一緒に仕事ができたら一番楽  
しいかしらと思つています。

**本田** フィリピンから帰つた頃か  
ら、身近な人が幸せになることを一  
つ一つやっていきたいと思ふよう  
にもなりました。家族や友人に優し  
く接する気持ちを大切にしたいと

思つています。それができないで途  
上国の支援をうんぬんするのは、本  
末転倒のような気がするんです。身  
近な人に感謝しながら、途上国の人  
にも優しい心を持って接してい  
たいと思つています。

**福井** わたしにはもう一つ近々の  
夢があるんです。今、ユニーズのリー  
ダーをさせていただいているので  
すが、今年は、メンバーをもつと増や  
し、やりたいこと、目標を決めて、皆  
でやり遂げたいと思つています。  
「知ることから始めよう」がモツ  
トなので、それを通じてユニセフ  
の事や世界の子どもたちのことを  
伝えることができたらと思つてい  
ます。

今日はありがとうございました。皆さ  
んのお話を伺つて、心強く思ひまし  
た。夢は叶います。夢に向かって、ま  
い進んでいくつてくださいね。

## ユニーズへようこそ!



ユニーズは高校生から大学生が中心のグ  
ループです。世界の子どもたちのために  
「何か」したいと思つている人、「何か」を探  
したいと思つている人、是非一緒に活動し、  
お互いを高め合つていきましょう!!

兵庫県ユニセフ協会:  
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/index>  
ユニーズのブログ: <http://unies.jugem.jp/>  
毎月1回、例会を持っています。詳しくは 兵庫県ユ  
ニセフ協会までご連絡ください。

ユニセフ兵庫と東日本

## ひょうごからのおくりもの



## 岩手県の幼稚園 保育園へ チューリップの球根贈呈式

10月26日、皆さまからお寄せいただいたチューリップの球根を、岩手県の吉里吉里保育園、大槌保育園、おさなご幼稚園へ届けました。園児の皆さんと一緒に植えてきた以倉隆さんの報告です。

10月26日水曜日、その日は先日来の暖かさから一変、急な寒さとなった。朝7時、「被災地でのボランティア活動を」という自分の願いがかなう時が来たという思いを胸にバスに乗り、盛岡から大槌町へと向かった。吉里吉里保育園、大槌保育園、それから私の担当となったおさなご幼稚園の3か所を34人のボランティアがグループに分かれて活動する計画だ。

おさなご幼稚園に着いたのは、10時半を過ぎていた。さっそく子どもたちと対面。園庭に並んだ子どもたちは屈託のない笑顔で迎えてくれた。その後の「地震の後に津波が来て一階の天井近くまで押し寄せ中、子どもたちを連れて裏山に間一髪避難し、一夜を過ごしました」という、園長先生の話聞いて胸が熱くなる思いがした。託された支援のチューリップの球根の贈呈式の後、ボランティアが球根を植える準備に取りかかった。まず、花壇の雑草を取り、堆肥と化学肥料を土に混ぜ込み植え



床を作る。その後、子どもたちがグループごとにチューリップの球根を植えた。

「上と下がさかさだよ。」  
「ふかさはこれぐらい?」「きれいにさくかな。」  
「あっ、ここ、だれがうえてた?」と、子どもたちは、楽しくにぎやかにチューリップの球根を全部植えることができた。

昼食のときにいただいたリンゴがとてもおいしかった。子どもたちが前日に収穫したものだそう。

午後は、子どもたちの歌を聞かせてもらったり、一緒に写真を撮ったりもした。最後に、園舎裏の花壇作りをして活動を終えた。そして、子どもたちに見送られて幼稚園を後にした。そのとき、幼稚園の先生から、「チューリップの咲くころ、是非、また来てください」と、言われた。

もっと近くにいて、継続して活動できたいのになあ、と思った。



上手に書けたよ

## 京都伏見桃山のみなさんへ 本とクリスマスオーナメントのプレゼント

この地域には、東日本の被災地から避難して来られた人と子どもたちを応援している「ももやま子ども文庫」というグループがあります。そこへ、日本ユニセフ協会から本とクリスマスオーナメントが届きました。兵庫県ユニセフ協会もお手伝いに行きました。



夢中になって

11月19日(水)、福島県在住のマリールイズさんを囲んでのお話会がありました。「目に見えない放射能汚染の恐怖は、ルワンダの内戦で経験した恐怖と似ている。子どもたちが将来も安心して普通の生活ができるようにしていかなければ…」と、マリールイズさん。避難して来られているお母さん方は、あふれ出る気持ちをいっぱい話されました。そして、これからは、今、自分にできることをしっかりとしていきたいという思いもたれたようです。

### ももやま子ども文庫

ももやま子ども文庫は、地域の子供たちに本の読み聞かせを続けてきたグループです。10月以降、被災地から避難して来られた人への活動を始めました。コミュニティづくりの手伝いや子どもたちのための楽しいイベントの企画、運営をしています。12月の「アフリカとともだちになろう」や「クリスマス会」には、たくさんの方が参加があり、あったかい輪は着実に広がっているそうです。

ユニセフボランティア最前線

## ユニ・ボラ塾

第1回 10月22日 第2回 11月26日  
場所 コープこうべ 生活文化センター  
講師 帝塚山大学 准教授 末吉 洋文



## 考えよう！！ 日本の子どもたちの現状

ユニセフボランティアのスキルアップを目的としながら、一般市民の方々にも参加を呼びかけての学びの場である「ユニ・ボラ塾」を開催しました。講師は国際法と平和学を専門とされている末吉洋文先生です。

2006年に塾が始まり「国連憲章を学ぶ」が最初の講座でした。その後はボランティアの私たちが、次々とテーマを提案していきました。先生は、こんなこと専門じゃないのになあと思われながらも受け入れてくださって、ここまで楽しくやってきました。

### 個人通報制度採択へ向けて

今年は子どもの権利条約で活動されてきた方にとっては画期的といえる日本政府の態度の転換がありました。それはこれまでに国際人権条約における「個人通報制度」については国内の司法権を侵す等々を理由にかたくなに拒んできた日本政府が、6月の国連人権委員会での子どもの権利条約の第3番目の議定書になる「個人通報(申し立て)制度」の共同提案国になったということです。

そこで、そもそも「個人通報制度とは何なのか」、その概要を知り、どのような場合に適用されるのかを1回目の塾で教えていただくことに

しました。始めのウォーミングアップのワークショップは4択のクイズで、その問題の一つは「世界の子どもの日は何月何日?」というものでした。答えは、11月20日。子どもの権利条約が国連総会で採択された日です。その後は、子どもの権利条約の実効性を促すために「個人通報制度」は保障となるものだということを学びました。なぜなら、国内の申し立てが認められなかった場合でも、人権の救済を国外に求めることを認める制度だからです。その議定書案は11月15日国連総会第3委員会を通過しました。**(※注)**

では、一体どんな事例が対象となるのだろうか、4つのグループに分かれて話し合いをしましたが、一般論で論じるのはなかなかむずかしいな、というのが感想です。

### 日本の子どもの貧困

2回目のテーマは「子どもの貧困」です。1回目の最後に「日本の子どもたちが置かれている権利の侵害状況について、参加者がいろいろな情報をもとにプレゼンテーションをする」という宿題が出されました。今回のウォーミングアップは「子どもの貧困という言葉から思いつくイメージを前に出て書きなさい」というものでし

た。昨年の8月セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが行なったアンケートを見ると「日本の子どもの貧困は問題だ」と答えた人が91%におよび、7人に1人の子どもが相対的貧困状態に置かれていることを問題に感じている国民の多くが存在していることが示されました。先生からは特にひとり親の家庭の半数以上が困窮し、このままでは貧困が世代に渡って引き継がれかねない危険があると教えられました。給食のない夏休み中にやせてしまう子どもがいるとの事実にも驚きました。東日本大震災は1567人もの震災遺児を生み出しましたが、被災地では多くの親たちが職を失っている現状もあり、子どもたちの未来を守る手立てが急がれます。

今回は若い一般参加の方が7人もいらしたことが特徴的でもあり、日本の現状を敏感にとらえ憂えている方たちの思いも今後の取り組みの中でどのように生かしていくべきかを考えねばと思いました。

(戸崎 文子)

**※注** 2011年12月20日、国連総会において「通報手続を設けるための子どもの権利に関する条約の選択議定書」が採択されました。

Activity File  
活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴 2011年10月～2011年12月

地域活動

地域の活動に参加し、主にカードやグッズの頒布をしました。ご協力ありがとうございました。

10月1日	姫路市医師会看護専門学校 文化祭
10月～11月	コープこうべ組合まつり
10月14日、15日	兵庫県ふれあいの祭典
10月22日、23日	コープこうべ・きょうとう学苑祭
11月13日	IKEA ソフトイキャンペン
11月13日	ユニセフカップマラソン 西宮
11月27日	コープボランティア交流会
12月3日	ふるさとウォーク西宮

学習会訪問

月日	訪問先	対象	人数
6月11日	兵庫県立大学	大学生	42
7月11日	香櫛園コープ委員会	大人	22
7月13日	武庫川コープ委員会	大人	23
7月15日	神戸市立住之江公民館	3歳児の母親	12
7月15日	宝塚市立第一小学校	5年生	207
7月20日	神戸学院大学附属高校	ボランティア部	4
8月9日	魚崎ピノキオクラブ	小学生	30
8月11日	本山南ひまわりクラブ	小学生	29
8月24日	甲子園コープ委員会	幼児～大人	28
9月4日	ガールスカウト兵庫83団	小学生～大人	11
9月6日	高砂市立高砂中学校	1～3年生	250
10月14日	大阪経済大学	大学生	20
11月13日	IKEA神戸	幼稚園～小学生	50
11月22日	神崎町立高岡小学校	5～6年生	27



ボランティア交流会

ふれあいの祭典

NEWS 事務局ニュース

第2回理事会、第1回評議員会を開催しました

11月30日(水)コープこうべ生活文化センター

2011年度の事業報告と決算見込みに関する件、2012年度の事業と予算に関する件、役員に関する件、規約の一部改正についての審議、すべての議案に了承していただきました。規約の改正により2012年度から兵庫県ユニセフ協会の賛助会員制度が始まることになりました。

IKEA 出前学習



親子連れでいっぱいでした。始めはパネルシアターを使っの「ユニセフマーク」の学習。子どもたちは真剣そのもの。次は、お父さんと子どもたちが一緒になってクリスマスのオーナメントづくり。若いお父さんの手際の良さが光っていました。ユニーズのメンバーとインターンシップの学生の皆さんの息の合った動きも素晴らしいものでした。

第33回 Hand In Hand  
ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金

テーマ SOS!  
栄養不良に苦しむ  
小さな命を守ろう



12月23日(金)は、世界の子どもたちの支援の協力をお願いする街頭募金活動を行いました。とても寒い日でしたが、多くの方が立ち止まって募金をしてくださいました。今回は、宝塚、伊丹、西宮、芦屋、住吉、三宮、元町、名谷、垂水、加古川、姫路の11ヶ所の会場で、ボーイスカウトやガールスカウトボランティアの皆さんの数は150人にもなりました。ご協力ありがとうございました。

Voices 参加者の声

大きな声でさげんだら、10人ほど来て、500円玉や10円玉をば金して下さったのがうれしかったです。少しまちがえても、ぼ金して下さる人がいたり、リーダーがカバーしてく下さったのもうれしかったです。中には、千円さつを入れて下さる人もいておどろきました。(小学生)

Pick Up Topic  
ピックアップ活動

活動の中から一部をピックアップしてご紹介

トライやるで、みーつけたっ

毎日、事務所の中は活気にあふれていました。西宮でのカード頒布、マリールイズさんとの出会い、学習チーム講師によるユニセフ学習など盛りだくさんのプログラムを若さと柔軟な発想で取り組んでいました。最終日には、「大切なものみつけた」のうれしい声が上がりました。

トライやるウィーク

11/7～11/11 神戸市立本山中学校 1人、御影中学校 2人、桜が丘中学校1人  
11/14～11/18 神戸市立本山南中学校 2人

インターンシップとボランティア体験

大阪経済大学、関西国際大学、甲南女子大学 7人

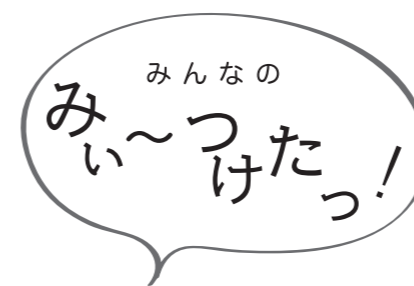


地図づくり。5歳になる前に命を失う子どもたちが...

カード頒布。「カードはいかがですか...」笑顔で。(左)  
学習タイム。真剣に集中して!(右)



Voices 参加者の声



将来へつなげたい

学校で「ユニセフ」という仕事を選んだ時はまったくといっていいほど何も知らなかった。今、5日間で習得したことが頭にたくさん詰まっています。地図に、世界の国々の現状を表しました。そして、将来の目的も見つかりました。

弘津 陽介さん(神戸市立本山南中)

ユニセフは大きな存在

6年生の時にカンボジアの子どもたちのことを知り、何かしたいと思っていました。トライやるでユニセフが世界の国にとって大きな存在だと痛感しました。そして、自分の中の世界への関心が変わり、将来の夢への意思が強くなりました。

林 あづ紗さん(神戸市立本山南中)

最初にユニセフ来たときの...

「出会いを大切に」という約束をしっかりと果たせたと思います。世界で大変な思いをしている子どもたちの分も精いっぱい生きていけるようにがんばります。

中島 日菜さん(神戸市立桜が丘中)

相手にとって必要な支援は...

今年、震災があり、世界の157の国から支援していただいたと知りました。普段から日本が支援していたから逆の時にも支援していただけたと思いました。

佐世 龍征さん(神戸市立御影中)

一番印象に残ったこと それは...

マリールイズさんとの出会い。ルイズさんの経験を聞くと、今まで自分が当たり前だと思っていたことが、世界ではまだ当たり前じゃない所がいっぱいあることを知りました。

登佐 芳貴さん(神戸市立御影中)

支え合うことから...

実際に活動してみると、「ユニセフは困っている人を助けるや物を渡すだけでなく、一生のものにする活動をする」ことを知りました。また、機会があればユニセフに協力していきたいです。

山添 智暉さん(神戸市立本山中)



About Donations

## 募金について

あなたの一歩が世界につながる一番身近な支援のかたち。金額よりも、あなたのその意志こそが最も大切な支援です。

	通信欄記載事項	振替口座	手数料
ソマリア干ばつ	ソマリア	00190-5-	免除
緊急募金	K1-280兵庫	3100	
東日本大震災	東日本大震災	00160-2-	ご負担
	K1-280兵庫	372895	下さい
ハイチ地震	ハイチ	00190-5-	免除
	K1-280兵庫	31000	
自然災害	自然災害	00190-5-	免除
	K1-280兵庫	31000	
人道危機	人道危機	00190-5-	免除
	K1-280兵庫	31000	
通常募金	K1-280兵庫	00190-5- 31000	免除

\*共通口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

Volunteer

## あなたもボランティア!

ユニセフという言葉は知っているけれど、どんな活動をしているんだろう。世界の子どもたちのために、私にできることはなんだろう。「できる人が できることを できる時に」活動しています。お気軽にご連絡ください。(事務局: 078-435-1605)

ユニセフ兵庫ニュース

# Wish

vol. 36  
2012年1月号

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2012年(平成24年)1月発行

発行: 兵庫県ユニセフ協会

住所: 〒658-0081

神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター4F

電話: 078-435-1605

FAX: 078-451-9830

(お問い合わせは平日の10:00~16:00)

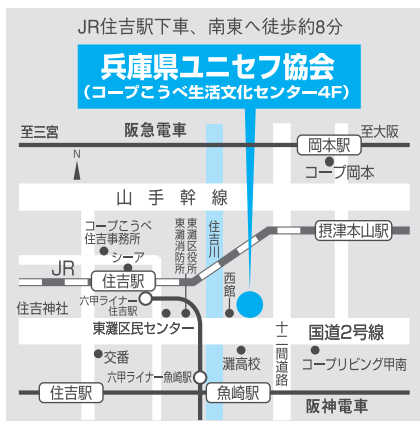
●最新の情報はホームページで

<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫県ユニセフ協会

検索

●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us

## 主催イベント

News

## お知らせ

### 2012神戸バレンタイン・ラブラン同時開催イベント ユニセフ神戸ラブランチャリティ・ウォーク 世界の子どもたちのために みんなで歩こう!

日時 2月12日(日) 10時~15時

コース ①住吉発14キロコース ②神戸空港発4キロコース

概要 途中電車、バスの利用も可能なフリーウォーク。酒蔵のまち、灘再発見。絶景オーシャンビューを渡りポートアイランド・市民広場ゴールを目指そう! \*ゴール後、ユニセフへのご支援を\*

主催: サンケイスポーツ、産経新聞社 特別協賛: 日本ハム、コープこうべ

We join

## 出展参加

2/12(日)	ユニセフカップ2012神戸バレンタイン・ラブラン
2/26(日)	コープファミリーフェスタ
2/29(水)	コープサークル発表会
3/4(日)	2012コープふれあいフェスタ宝塚
3/10(土)	第6回 祭inすみよし
3/11(日)	神戸国際交流フェア2012
3/25(日)	2012ふれあいまつりin塚口